

藤樹人間学塾… 藤樹思想を学び考え実践する

塾長 田中 清行

「藤樹人間学塾」では、藤樹先生の著書を中心に思想を学ぶとともに自らの頭で考え、時事問題と組み合わせ、日々の生活の場で実践することを目的に毎月開催しています。本稿ではその模様をお伝えいたします。

■一月、安曇川公民館で第百四十五回人間学塾を開きました。参加者は八名でした。

●テキスト

中江藤樹著『鑑草』の余録 春風

●今日のポイント

・私たちの心には明德という天下第一の宝が備わっている。そのことを正しく理解することが肝要である。これを体得して感謝して生きれば、八苦がなくなり、心常に楽しみ、何事も思いのまま、富んでも貧しくても、順境でも逆境でも関係なし。

◇フリートークキング

・「明德を明らかにすることで八苦がなくなるのは、般若心経で神仏に身を任せて苦がなくなるのと同じだと感じた」

■二月、安曇川公民館で第百四十六回人間学塾を開きました。高槻、京都、彦根、大津からの参加者を入れて十二名でした。

●テキスト

中江藤樹著『鑑草』の余録 春風

●今日のポイント

・明德が明らかな人、孝行の人、兄弟の情誼が細やかな人、慈悲深い人、忍辱の人は、天災(地震、風水害等)や人災(戦争、盗賊、火事、水難等)が起こってもそこから通れられ、幸福が訪れる。生きとし生けるものは皆仏の心をもっている。この教えが禅の根幹となっている。ただ煩惱に覆われていてその仏の心が見えず、知ることができないでいるだけだ。



◇フリートークキング

・「初めて参加し、長く生きるより深く生きるという言葉が響いた。人間関係を大切にしたい」

■三月、中江藤樹記念館で第百四十七回人間学塾を開きました。参加者は七名でした。

●テキスト

中江藤樹著『鑑草』の余録 陰鷺(陰徳)の前半

●今日のポイント

・人間の究極の願い、功名、富、貴、長寿、子孫は大宇宙が差配する。自反慎独して思いやりの心を持てば、願いは叶えられる。人知れず善行を行い徳を積む者には必ず誰の目にも明らかでない報いがあり、はつきりとした名誉が訪れる。

◇フリートークキング

・「陰鷺という言葉をも初めて聞いたが、以前から学んでいる利他の心が根本だと思った」

■四月、安曇川公民館で第百四十八回人間学塾を開きました。参加者は七名でした。

●テキスト

中江藤樹著『鑑草』の余録 陰鷺の後半

●今日のポイント

・求嗣(あとつぎを求める)の方

法は、陰徳を施す(仁の心を持つて人を救い物をあわれむ)ことが根本である。神仏に祈り医療に頼る方法はその次に行えばよい。

・徳を「自己の最善を他者に尽くしきる」ととらえる。そうすると相手の心には感謝の心が生まれ、お互いが感謝の人間関係で結ばれることになる。これこそが宇宙の理法に合うことになる。

◇フリートークキング

・「藤樹先生は、女性に夫が亡くなったときに他家に嫁ぐことを戒めていたのに、なぜ自身が亡くなるときに妻を再婚させようとしたのか」↓若い美人の妻の将来を慮った先生の深い愛情で、先生の教えの真髓が現れていると思う。

等の意見をいただきました。ありがとうございます。

人間学に関心のある方は是非お越しください。無料です！

藤樹人間学塾 今後の予定

六月一日(土)、七月六日(土)、八月三日(土)、九月十四日(土)

■時間 (原則) 十五時～十七時

■場所 (原則) 安曇川公民館